

文化遺産総合活用推進事業 実施計画

1 都道府県・市区町村名	栃木県・小山市	2 補助事業の種類	地域文化遺産活性化
3 実施計画の名称	小山市歴史的資産を活用した地域活性化事業【計画の改善時期】 平成 年度		
4 実施計画期間	平成 29 年度 ～ 平成 31 年度		
5 実施計画の概要			
小山市では「歴史まちづくり」を「市民が身近に歴史を感じられるまちづくり」と位置付けて各種事業を実施している。本事業は総合計画においては主要施策として、小山市版総合戦略である小山市まち・ひと・しごと創生総合戦略においては主要事業として位置付け、地域の歴史的特性を活かしたまちづくりを推進している。 こうした流れの中で、交通の要衝として発展してきた小山市の地域性を踏まえた歴史まちづくりを推進するため、近世において宿・河岸のおかれた市内南小林・上泉地区を本市の歴史まちづくりのモデル地区としている。 本計画では、平成28年度及び平成29年度に行った、地域の歴史的資産の調査・研究により得られた当該地域の史実や歴史的資産を発信するための報告会や文化財の一斉公開を計画。また、当該地域の文化遺産を記録映像に残すことにより、当該地域だけでなく、地域外の人に地域の文化財を広く発信していく。			
6 実施体制			
下記のとおり本実施計画に係る全体の企画・調整や各補助事業に係る指導等を行うと共に、事務局機能を担う。 - 総合政策部文化振興課：歴史的資産の調査・保存・活用に関する指導、調整等 - 市民生活部中出張所：地域との連携・調整等 - 経済部商業観光課：歴史的資産の観光への活用に関する指導、調整等 また、補助事業は次の団体が実施する。 旧・梅の宮宿、本沢河岸周辺の歴史的資産を活用した地域活性化事業実行委員会 構成団体（南小林自治会、上泉自治会、中小学校、小山市）			
7 実施計画における目標と期待される効果		別紙①のとおり	
8 補助事業の概要	(1) 補助金額	～平成29年度交付決定額： 4, 274 千円	平成30年度申請額： 2, 992 千円
(2) 実施事業の概要		別紙②のとおり	
9 その他計画実施により想定される効果（定性的な効果を記載）			
対象地域は江戸時代に宿・河岸が置かれたことから有識者からは歴史的な地域として一定の評価を得ているが、地元住民からはそのような認識は得られていなかった。このため、地域の歴史的資産に係る調査・研究事業を実施し、その成果について情報発信を図ることで、地域の歴史的資産に対する保存意識の高揚が期待される。 また、外部からの歴史的資産を目当てとする来訪者や、地域の歴史的価値・歴史まちづくり活動がマスコミ等の外部に取り上げられて評価を得ることで、地域住民が地域の価値を再認識し、本実施計画を基にした歴史まちづくり活動が住民主体の活動として継続されることが期待される。			
10 その他事業（自主財源、民間団体、他省庁等からの補助（支援）を予定している事業など）			
事業概要：	地元負担、及び自主財源により、地区まちづくり研究会活動として定期的な研究会の開催、地域の行事に合わせた地域外の人を受け入れるためのイベントが予定されている。		
事業概要：	小山市で設置している歴史のまちづくりに関する有識者会議（小山市歴史のまちづくり推進懇話会）において、本事業に対して懇談・提言を行い、事業の検討を予定している。		
事業概要：			
11 「歴史文化基本構想」の策定や「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けた計画の見込等			
本事業は、地域と行政が協働して、地域の特性である「歴史」を活用してまちづくりを進めようとするものであり、本市の歴史のまちづくりの主要事業の1つに位置付けている。本事業において得られたノウハウを活かして、来年度より歴史的風致維持向上計画の策定に係る調査業務に着手予定である。			
12 担当部局			
地方公共団体 担当部局課	小山市総合政策部文化振興課（歴史のまち推進係）		

7 実施計画における目標と期待される効果 別紙

目標区分 1 :	地域の文化資源を活用した集客・交流					
評価指標区分 1 :	地域の文化遺産への来場者数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 1 :	文化財公開施設への来場者数			関連事業:	①・②・③	
目標値 1 :	【現状値】 平成 29 年度 100 人 ⇒ 【目標値】 平成 31 年度 500 人					
設定根拠 1 :	当該地域の歴史的資産の価値を地域の人に理解してもらうために、地域外の手場者数を設定					
進捗状況 1 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 年度	平成 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	
人	人	100 人	人	人	人	
		0%				
目標区分 2 :	(リストから選択してください。)					
評価指標区分 2 :	(具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 2 :				関連事業:		
目標値 2 :	【現状値】 平成 年度 (単位) ⇒ 【目標値】 平成 31 年度 (単位)					
設定根拠 2 :						
進捗状況 2 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 年度	平成 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	
(単位)	(単位)	(単位)	(単位)	(単位)	(単位)	
目標区分 3 :	(リストから選択してください。)					
評価指標区分 3 :	(具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 3 :				関連事業:		
目標値 3 :	【現状値】 平成 年度 (単位) ⇒ 【目標値】 平成 31 年度 (単位)					
設定根拠 3 :						
進捗状況 3 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 年度	平成 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	
(単位)	(単位)	(単位)	(単位)	(単位)	(単位)	
目標区分 4 :	(リストから選択してください。)					
評価指標区分 4 :	(具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 4 :				関連事業:		
目標値 4 :	【現状値】 平成 年度 (単位) ⇒ 【目標値】 平成 31 年度 (単位)					
設定根拠 4 :						
進捗状況 4 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 年度	平成 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	
(単位)	(単位)	(単位)	(単位)	(単位)	(単位)	

8（2）実施事業の概要 別紙

事業①：	小山の文化遺産伝統文化 映像・DVD制作事業				実施団体：	旧・梅の宮宿、本沢河岸周辺の歴史的資産を活用した地域活性化事業実行委員会	
事業区分：	情報発信				事業期間：	平成 30 年度 ～ 平成 31 年度	
事業概要：	【旧・梅の宮宿、本沢河岸周辺に残る文化財、景観】【小山市西部地域の文化財】について映像を制作することで、市内外に歴史的資産の価値について情報発信を図るとともに、地域住民の自らの地域の歴史的価値への理解を深める。 【映像制作】 ・旧梅の宮宿、本沢地区に残る文化遺産や街並み 20分程度 10枚/ショートバージョン 2分程度 5枚 ・小山市西部地域の文化財(琵琶塚古墳、南飯田神田囃子など) 40分程度 10枚/ショートバージョン 3分程度 5枚						
評価指標区分：	・コンテンツダウンロード数（掲載HPや動画共有サイトでの再生回数等）					（具体的な指標は次のとおり）	
具体的な指標：	掲載HPや動画共有サイトでの再生回数等						
目標値：	【現状値】 平成 29 年度 0 回 ⇒ 【目標値】 平成 31 年度 2,000 回						
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率						
平成 年度	平成 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度		
回	回	回	回	回	回		
事業②：	文化財公開事業				実施団体：	旧・梅の宮宿、本沢河岸周辺の歴史的資産を活用した地域活性化事業実行委員会	
事業区分：	普及啓発				事業期間：	平成 30 年度 ～ 平成 31 年度	
事業概要：	対象地域に残る歴史的資産は、居住者のいる古民家や現業の作り酒屋、神社の本殿等、通常は一般向けに公開されていない。この歴史的資産を、日を限定して公開し、合わせて歴史講座や、対象地域に残る民話の読み聞かせ、無形文化財の実演を行うことで、地域全体を屋根のない博物館として、対象地域の歴史的価値を地域住民に再認識してもらうと共に、市内外への発信を図る。						
評価指標区分：	・その他					（具体的な指標は次のとおり）	
具体的な指標：	文化財公開施設への来場者数						
目標値：	【現状値】 平成 29 年度 100 人 ⇒ 【目標値】 平成 31 年度 500 人						
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率						
平成 年度	平成 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度		
人	人	100 人	人	人	人		
		0%					
事業③：	旧・梅の宮宿、本沢河岸周辺の調査研究結果報告会				実施団体：	旧・梅の宮宿、本沢河岸周辺の歴史的資産を活用した地域活性化事業実行委員会	
事業区分：	普及啓発				事業期間：	平成 30 年度 ～ 平成 31 年度	
事業概要：	旧・梅の宮宿、本沢河岸のあった南小林、上泉地区にて行った歴史的資産の調査・研究結果の報告会を実施し、基調講演及びパネルディスカッションを通じて、地域住民や、近郊からの来場者に旧・梅の宮宿、本沢河岸に残る文化遺産について理解を深めてもらう。 【旧・梅の宮宿、本沢河岸周辺の調査研究結果報告会】平成30年10月（実施予定） ・プログラム：基調講演、調査研究結果報告、パネルディスカッション ・出演者案：流通経済大学教授、國學院栃木短期大学講師・学生、小山工業高等専門学校准教授・学生、自治会員、博物館友の会郷土史部会会員						
評価指標区分：	・その他					（具体的な指標は次のとおり）	
具体的な指標：	文化財公開施設への来場者数						
目標値：	【現状値】 平成 30 年度 100 人 ⇒ 【目標値】 平成 31 年度 500 人						
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率						
平成 年度	平成 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度		
人	人	人	人	人	人		